

## 学校評価

# 教育アンケート集計結果報告

1月に「教育アンケート」を行いました。保護者の「教育アンケート」は、615件のご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

集計結果および学校としての方針等のご報告をさせていただきます。教育活動をふり返し、子どもたちにとってより楽しい生活にしていくために、学校の方針を考えていきたいと思っております。

## 児童アンケート結果

■ : Aとてもそう思う      ■ : Bどちらかといえばそう思う  
■ : Cどちらかといえばそう思わない      ■ : Dまったく思わない

1 わたしは、6月に学校が始まったとき、スムーズに学校生活になれることができた。



2 わたしは、進んで学習している。



3 わたしは、手洗いやうがいをきちんとしたり、なるべく好き嫌いをしないようにしたりするなど、健康に気を付けて生活することができる。



4 わたしは、友達にやさしくしたり、困っている人に声をかけたりすることができた。



5 わたしは、時間やきまりを守っている。



6 わたしは、運動会や遠足、校外学習などの学校行事に、進んで取り組むことができた。



7 先生の授業は、わかりやすい。



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

## <全体の傾向>

全体的に全ての項目において、肯定的な評価が80%以上をしめており、コロナ禍にもかかわらず、児童が学習、行事、学校生活全般に意欲的に取り組んでいることがわかりました。一人ひとりの思いを大切に、個に応じた対応を学校・家庭・地域と連携しながら、CやDを回答した児童への支援をしております。

## <項目別分析>

Aの数値が高い項目としては、昨年度に引き続き「6・7」があげられます。児童が制限のある中でも自分ができることを考え、楽しもうと努めてきたことがわかります。一方、昨年と比べて「3」の健康への意識が低くなりましたが、児童がコロナ禍での生活において健康や感染予防への意識が高まり、客観的に自分の行動を見つめていることが考えられます。

CやDと答えた項目については、緊急事態宣言下で3か月間、学校が休業したことで「学校に慣れる」「進んで学習する」ことに時間を必要としたことが考えられます。「1・2」の項目については児童の気持ちにより添いながら継続的に指導、支援していきたいと思っております。

# 保護者アンケート結果

■ : Aとてもそう思う      ■ : Bどちらかといえばそう思う  
 ■ : Cどちらかといえばそう思わない      ■ : Dまったく思わない

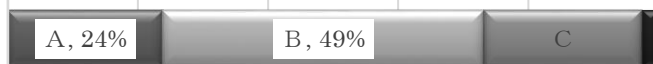
1 お子様は、楽しく学校生活を送っている。



2 お子様は、自分から進んで学習に取り組んでいる。



3 お子様は、自分の健康のことを考えて食事をとったり、進んで運動したりしている。



4 お子様は、自分からあいさつすることができる。



5 お子様は、時間やきまりを守って行動することができる。



6 先生たちは、子どもたち一人ひとりの個性を大切にしながら指導している。



7 学校は、「校外学習」や「運動会」などの教育活動を工夫している。



8 学校は、学校だよりや学年だより、学級だよりを通して子どもたちの様子や情報を発信している。



9 学校は、子どもが充実した学校生活を送ることができるように、感染拡大防止や安全面、環境の整備に努めている。



10 学校は、保護者や地域の方々と協力しながら教育活動を行っている。



0%      20%      40%      60%      80%      100%

## <全体の傾向>

ほとんどの質問項目において、80%以上の肯定的な評価をいただきました。本校教育活動へご理解と協力をいただきありがとうございました。保護者の方からいただいたご意見を学校でしっかりと共有し、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、今後も取り組んでまいります。



## <項目別分析>

A+Bの数値が、特に高い項目として、「1・7・10」が挙げられます。コロナ禍の中、6月の分散登校からのスタートでしたが、子どもたちが楽しく学校に登校していることがわかりました。今後も、子ども一人ひとりが、安心して楽しく学校生活を送ることができるように、また達成感や自己肯定感、自己有用感が得られるように、全ての教育活動において取り組んでいきます。

C+Dが多い項目は、昨年度に引き続き、3の「食」や「運動」に関することと4の「あいさつ」に関する項目でした。食事と運動については、家で過ごす時間が増え、生活習慣の乱れや、十分に身体を動かす時間が取れなかったことも考えられます。あいさつについては、「いつでも、どこでも」気持ちよくあいさつができるように引き続き指導してまいります。

アンケートでは、A B C Dの段階評価だけでなく、文章表記によるご意見・ご感想、そして学校への励まし  
のメッセージをいただきました。ありがとうございました。

紙面の都合上、全ての内容を記載することができませんが、大まかなご意見とご感想、および学校評価の  
まとめと今後について掲載させていただきます。

## 学校に対していただいたご意見 と ご感想 (抜粋)

### 【子どもへの指導に関すること】

- コロナ禍の中、工夫しながら様々な活動を行っていただきありがとうございます。
- 子どもたちのことを一番に考えているいろいろな行事を行っていただけたことに感謝します。
- 子どもの個性を大切に、自分の得意とするものを生かすことが素晴らしいと思えるような教育をお願い  
します。
- 学校全体で、よいところを認めてほめることで正しい行動が定着できるようになってほしいです。

### 【感染対策に関すること】

- 日頃から感染防止対策を徹底してくださり、ありがとうございます。
- 感染拡大防止の取り組みについての情報を、もっと提供してほしいです。



### 【コロナ禍での学習・ICT化について】

- コロナの感染が広がっているときには、オンラインと組み合わせた形を検討してほしいです。双方向の  
オンライン授業を早急に準備してほしいです。
- PTA活動も含め、ZOOMの活用などICT化を推進してほしいです。



### 【その他】

- 学校だよりがすてきです。わが子の普段の様子が目に浮かび、ありがたいです。
- あいさつができる子どもが少ないように思います。子どもの人数が多い割には地域の方との連携が少ない  
ように感じます。
- 正門脇の通用門が開いたままのことがあり、セキュリティの観点からも改善が必要と思います。

## 学校評価のまとめ と 今後について

### 【教育効果が上がってきたもの】

#### ◆「校外学習」や「運動会」などの教育活動の工夫◆

コロナ禍で、例年とは違った形での運動会の開催、何度も変更を重ねた体験学習や修学旅行、校外  
学習となりました。保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

校外学習や運動会では、子ども一人ひとりが活躍できる場をつくるために、年間を通して実行委員を  
決めて、児童が中心となって進める機会をどの学年でもつくるようにしてきました。その活動を通  
して人前で堂々と話したり、見通しをもって計画的に考えたり友達と協力して活動したりする力を  
身に付けられるようにしています。

今年度は、運動会はペア学年ごとに平日に短縮して行われました。

いただいたご意見をもとに来年度は、さらによりよい形となるよう、  
検討し、実施していきます。



## ◆特別支援教育や人権教育の充実◆

ニコニコルーム（少人数学習支援）や国際教室など、特別支援について効果が表れてきています。細やかな支援をしていくことで、子ども自身が自分の成長や学習の成果を感じられる機会が増えます。今後も、一人ひとりの成長や困り感について担当者と担任で情報共有しながら、個に応じた支援を続けていきます。

また、学校ではさまざまな家庭環境の子どもたちが共に生活しています。それぞれの違いを認め合い多様性を尊重できるよう、道徳や人権学習に取り組んできました。人権週間には横浜国立大学の先生に来ていただき、外国につながる人との共生についてお話を聞きました。子どもたちが違いを自然に受け入れ、自分らしく過ごせる学校となるよう、今後も大切にしていきたいです。

## 【教育効果をさらに上げていきたいもの】



### ◆「あいさつ」◆

子ども自身がクラスごとに正門で行う「あいさつ運動」は、今年度はコロナ禍のため行えませんが、職員は毎日門や昇降口に立って子どもたちを迎えています。職員から「朝のあいさつに元気がないな。」「あいさつが返ってこないな。」という声が聞こえてきます。また、22%の保護者の方からも、「自分からあいさつできていない」と回答をいただきました。

しかし「学校内ですれ違う職員にあいさつをする子が増えた」と実感している職員が多くいます。この変化を大切にし、「いつでも、どこでも、だれに対しても」気持ちのよいあいさつができるように、継続して指導していきます。子どもたちからは「知らない人に、あいさつをしていいの。」という声も聞かれますが、大きな声であいさつすることは自分の身を守ることにともなうので、学校や家庭だけでなく、地域でもあいさつができるよう、学校と家庭とで声かけをしていきたいです。

### ◆健康を考えた「食」や「運動」◆

担任から「給食の残食が多い。」という声が聞こえてきます。今年度はコロナ禍の影響もありますが、好き嫌いや偏食、少食の児童が年々増えていると感じています。保護者のアンケート結果の中でも最も多く、改善を求める評価（CとD）をいただきました。半面、90%の児童は「手洗いをきちんとしたり、なるべく好き嫌いをしないようにしたりするなど、健康に気を付けて生活することができた」と回答しています。「職員・保護者」と「児童」とでは、受け止め方に違いがあることが分かりました。手洗いは例年より意識して取り組んでいる様子が見られますが、食に関しては、健康な身体づくりのためにも、ご家庭とともに考えていきたいところです。

さらに運動については、今年度は校庭工事があり、学校では外で身体を動かす機会をなかなかもつことができませんでした。例年は、休み時間になるとたくさんの子もたちが遊んでいます。来年度は整備された校庭で、子どもたちが進んで身体を動かすようにしていきます。



## 【来年度について】

○日々の授業で体験活動を取り入れて興味関心をもたせ、子どもたちが主体的に学習に取り組めるように、よりよい授業を工夫していきます。また、互いの考えを認め合い、考えを深めながら学習できるように、共感的に聞く力を育てていきます。

○高学年では教科担当制に取り組み、多くの目で子どもたちを見守り、育てていきます。

○感染状況をふまえながら柔軟に対応し、子どもたち一人ひとりが輝ける活動や行事を考えていきます。

